



令和元年度 山形県飯豊少年自然の家 <指定管理者(株)ヤマコー> 所報

ひめさゆり 11月号

〒999-0605 西置賜郡飯豊町大字添川 3535-33 TEL 0238-74-2331 FAX 0238-72-2342

いいでの秋 2019 ときめきと感動で心豊かに!



山形県飯豊少年自然の家 所長 浅井 和
今年も“いいでの森”に素敵な秋が訪れてくれました。森の木々が鮮やかに色づき、クリやドングリも豊かに実りました。今年の紅葉は、特に赤色が鮮やかだったかと…。

さて、「夢いっぱいどんぐり広場 もくもくやきいも体験」は、今年も大盛況でした。置賜一円から毎日のように小学校や幼児施設の皆さんにおいでいただき、焼きいも体験や木の実拾いなどの秋探しを楽しんでいただきました。そして、やきいものおいしさや木の実をたくさん拾えたうれしさを生き生きと話していただきました。年少の子どもほど、その感動は大きいように感じます。かつては家庭で普通にできた体験が、なかなかできなくなってきた今だからこそ、本所を活用いただき、豊かな自然体験を通してたくましく生き抜く力を育むことができればと切に願っています。これからもときめきと感動のある体験活動を提供できるよう努めてまいります。「いいでの秋 2019」の一場面をご紹介しますのでご高覧ください。

いいでW&A 秋キャンプ



10月19日(土)～20日(日)、いいでワイルド&アドベンチャーの第3弾「秋キャンプ 2019」を開催しました。このキャンプでのテーマは、「火」と「木」について学び・考え、体感することです。まず、「火」に関わっては、このキャンプで使う火を自分たちの力で起こすことから取り組みました。原始的な「ひもぎり式」に挑戦しましたが、もちろん簡単ではありません。やっと起こした火は「防災オイルランタン」に灯し、その後の野外炊飯やキャンプファイヤーに用いて、その大切さを実感しました。また、「木」に関わっては、本所周辺の森の変化について考えたあと、くりの木テントサイトに植樹を行いました。苗木は本所の森の命を引き継いだものです。昨年度に続き、木育プログラムとして取り組みました。その他、夜は館内でピバーク体験に臨み、普段は寝床にしないような所で一晩を過ごしました。小学校3年生から中学校3年生までの異年齢の集団による活動は、その様子を見ても貴重なものであることが実感されます。このキャンプでも仲間との協力を通して、新たな発見を



したり、自信を深めたりする機会となったことをうれしく思っています。

自然楽校でお祭りだ!

10月6日、天候が心配される中ではありましたが、260名を超える皆さんにおいでいただき「自然楽校でお祭りだ!」を開催しました。フードコーナーでは、途中で売り切れが出てしまうほどの大盛況となりました。

今年も「クラフト」・「アドベンチャー」・「フード」の各コーナーに計29の屋台(プログラム)を準備し、ご家族で、そして友達同士で秋の体験活動の楽しさを存分に味わっていただきました。ボランティアスタッフとして、本所のホームリーダーの他に高校生(置賜農、高畠、小国、長井工)の皆さんにもご協力をいただいたところです。



来年も楽しい屋台を準備して皆さんのご参加をお待ちしております。



アツアツやきいもパーティー

11月9日(土)、10日(日)の2日連続で、今秋も大盛況をいただいた「もくもくやきいも体験」の締めくくり、感謝の場として、「アツアツやきいもパーティー」を開催しました。今年は昔ながらの落ち葉で焼く「やきいも」に挑戦しました。参加者の皆さんには落ち葉拾いから行っていただきましたが、本所のまわりはもちろん落ち葉だらけ…、あっという間にたくさん集まりました。さて、そのお味の方はというと、職員による絶妙の火加減もあり、過去最高?という声も聞かれるほどの焼き上がり具合でした。

また、紅葉真っ盛りの中、昼食はチーズフォンデュパーティー、さらにはアスレチックや散策と、いいの秋を満喫していただきました。さわやかな秋空の下、美味しく、楽しく過ごしていただきました。



自然大好き!いいでクラブ

11月24日(日)、「第2回自然大好き!いいでクラブ」を約60名の皆様の参加をいただき開催しました。当日は、「かぼちゃのモンブラン」作りと木の実等を材料に用いた「森のピンボール」作り挑戦していただきました。

外は秋の深まりとともに冬の訪れを感じる頃でありましたが、親子や友達同士で協力し合い、じっくりと集中して活動する姿がたくさん見られ、とても感心しました。短い時間ではありましたが、この秋の素敵な思い出をつくっていただくことができたことをうれしく思っています。

